

# 第10回 南河内在宅医療を考える会

南河内在宅医療を考える会では、地域の医療・介護・福祉がよりスムーズに連携を行えるための勉強会を開催しております。安心して暮らせる地域を医療や介護に携わる様々な職種の方々と同じ方向を向いて構築していくことが私たちの目標です。

日時：平成30年5月19日(土曜日) 15:00～17:00

場所：藤井寺市立市民総合会館 別館 中ホール

藤井寺市北岡1-2-3 TEL:072-939-7020

参加費：無料

この研修会は、公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています。  
また、日本医師会生涯教育制度の単位取得予定です。

主催：南河内在宅医療を考える会 裏面の参加申込書にてお申し込み下さい。

講師 永井康徳 先生

松山市  
医療法人ゆうの森 理事長

## 演題名 多職種チームで連携する在宅医療 ～「自分らしく生きる」を支える～

かかりつけ医機能が重要視される中、在宅・福祉スタッフとの連携やICTをうまく活用し、楽しい在宅医療を実践されている永井康徳先生をお招きし、ご講演を賜る運びとなりました。



### 講演内容(永井先生講演抄録より)

医療の分野では、「治す医療」から「支える医療」へと大きな転換を図る上で、新しい医療の在り方やシステムが必要とされています。在宅医療が、まさにこれからの「新しい医療の形」と呼ばれています。在宅医療は、治らない病や、障害、老化に向き合っていかなければならない医療です。単独職種の専門分野だけでは限界があり、様々な職種のチームで協力して、向き合っていかなければ力は発揮できません。ITツールもうまく用いて多職種のチーム、情報の共有と方針の統一を図りながら関わる大切ではないでしょうか？

私たちの法人では、毎朝、クラウド型の情報共有ツールで、多職種が患者情報を共有しています。本院から70km離れた場所にあるへき地診療所ともWEB会議を結んでミーティングを行っています。今回は、私たちの法人における多職種連携のチームでの取り組みをご紹介します。



### 著書紹介

たんぽぽ先生の在宅報酬算定システム(日経BP社)

教えて！たんぽぽ先生 Q&Aで身につく在宅報酬の仕組み(日経BP社)

在宅医療をはじめよう！医療を変える,地域を変える,文化を変える(南山堂)など

FAX:072-955-0904

第10回 南河内在宅医療を考える会  
参加申込書

誠にお手数ですが、下記事項を記載のうえFAXをお願い申し上げます。

お名前	ご所属	職種	連絡先 (電話またはメールアドレス)

会場に人数制限がありますので、お早めにお申し込みください。

申し込み締め切り:平成30年5月7日

主 催 : 南河内在宅医療を考える会  
助 成 : 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団  
事務局 : 数尾診療所 数尾 展